

## 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク 2019年度 事業報告書(案)

### <実施期間>

2019年4月1日～2020年3月31日

### <2019年度の方針>

2008年の設立以来、12年目を迎える本年度は、国内においてSDGsへの関心が高まり、G20やTICADなどの重要な国際会議が相次いで開かれるとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を目前に控え、また、大阪万博の開催に向けた準備が着手されるタイミングであることから、SDGsの達成や持続可能な成長の実現に向けた本質的な取り組みを促すために、多様な主体による連携を、特に地域において推進できるよう、働きかけます。

#### (1)NPO/NGOが自ら取り組む社会的責任(以下、SR)の普及

NPO/NGOが自らの組織で取り組むSRを推進するため、具体的な取り組みを紹介し共有する機会を広げる。

#### (2)他セクターとの協働によるSRの普及

さまざまなセクターと連携してSRへの取り組みを促進するべく、NPO/NGOの取り組みや成果を他セクターと共有し、また他セクターの取り組みからも学ぶとともに、他セクターのSRへの取り組みを促すNPO/NGOを育成・支援する。

#### (3)社会的影響力の大きな課題に対するマルチステークホルダープロセスの推進とアドボカシー(政策提言)の強化

SDGsやオリンピック・パラリンピック2020東京大会をはじめとする社会的影響力の大きな課題に対して、マルチステークホルダープロセスにより社会的責任が果たされることに尽力するとともに、その課題の重要性、具体策を提言するとともに、地球環境や貧困などの国際的な課題へのアプローチにおいてもSRへの配慮がなされること、またその担い手自身が社会的責任を果たすことの必要性を訴える。

上記方針を実現するために、フォーラムやセミナーなどを開催する。

### <2019年度の事業報告>

#### 1)NNネット全体としての主催・共催事業

NNネットの主な取組み課題である、他セクターとの協働によるSRの普及について、2019年度も、NPO/NGOのガバナンス、SDGs、責任ある調達等についてのセミナーを開催したほか、他団体との共催や後援を通じて、地域でマルチステークホルダーで取組むSRの普及に向けた支援を行った。

主催した事業、および共催・後援した各事業は下記のとおり。

#### **【主催事業】**

##### **連続SRセミナー2019**

##### ■第1回 NPO/NGOに欠かせない「ガバナンス」をどう進めるか

日時:2019年9月17日(火)17:00～20:00

場所:地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

講演テーマおよび登壇者:

「基礎から再確認! 非営利組織のガバナンス」

川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者)

NPOの社会責任(SR)取り組み推進プロジェクト/NNネット)  
「公益法人のガバナンスコード(案)策定の背景と今後の方針」  
鈴木勝治さん(公益社団法人 公益法人協会 副理事長(代表理事))

開催報告記事: <http://sr-nn.net/archives/5491>

## 第2回 SDGs実施指針の改定に向けたマルチステークホルダープロセス

日時: 2019年11月19日(火) 18:00~19:30

場所: 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

講演テーマおよび登壇者:

「SDGs実施指針改定の作業状況」

吉田綾さん(SDGs推進本部事務局/外務省地球規模課題総括課 課長)

「SDGs実施指針改定に向けた各ステークホルダーとの連携について」

稲場雅紀さん(SDGs市民社会ネットワーク 政策担当顧問)

ファシリテーター: 星野智子(環境パートナーシップ会議)

開催報告記事: <http://sr-nn.net/archives/5563>

## 第3回 実践しよう! NPO/NGOのガバナンス強化~理事会改革の事例に学ぶ~

日時: 2020年1月14日(火) 18:00~20:00

場所: 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

講演テーマおよび登壇者:

「ピンチをチャンスに変える組織改革~理事改選に臨む~」

公益財団法人日本自然保護協会 事務局長 鶴田由美子さん

「チャンス・フォー・チルドレンの理事会運営事例」

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 代表理事 今井悠介さん

「事業モデルチェンジと世代交代を実現。NPOサポートセンターの6年間の取組紹介」

特定非営利活動法人NPOサポートセンター 常務理事・事務局長 小堀悠

開催報告記事: <http://sr-nn.net/archives/5569>

## 第4回 SDGsに貢献する持続可能な公共調達 ~自治体の取り組みをどう進めるか~

日時: 2020年2月14日(金) 18:00~20:00

場所: 静岡市産学交流センター(静岡市葵区御幸町3番地の21)

講演テーマおよび登壇者:

報告:「地方が持続するためには一地域・企業・行政の役割を考える」

一般社団法人持続的成長企業ネットワーク 代表理事 吉田正博さん

報告:「公共調達における国内外の動向と全国自治体の取り組み」

一般財団法人CSOネットワーク 事務局長代行・理事 長谷川雅子

問題提起:「SDGsに貢献する持続可能な公共調達に向けて」

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者 川北秀人

共 催: 静岡市

開催報告記事: <http://sr-nn.net/archives/5580>

## 2)プロジェクトごとの事業報告

### (1)社会責任に関連する規格の策定・普及

1.ISO26000SJM(ステークホルダー・ジャパン・ネットワーク、旧「ISO/SR幹事会」)のNGO委員にNNネット代表協議者(堀江)が参加し、他のステークホルダーの委員らと検討を重ねるとともにISO26000の活用方法

や、普及に関しても意見交換を行った(2019年12月5日に懇談会開催)。

2. 2018年10月に解散したISO26000発行後の組織(PPO: Post Publication Organization)に代わり立ち上がった「ISO26000 Stakeholders Global Network(SGN)」に、NGOメンバーとして堀江が参加した(2019年10月9日、2020年1月15日のWeb会議に参加)。

#### (2) 公共調達をはじめとする調達における社会責任対応推進

1. 「地域における多様な主体によるSR推進プロジェクト」として、「公共調達」をはじめ「多様な主体の協働で進めるSDGs」「マルチステークホルダー連携」「NSR」などのテーマのセミナー等の開催を、NNネットの地域会員団体および関係する団体に対して呼びかけたところ、2019年度SDGs未来都市に選ばれた静岡市にて、「SDGsに貢献する持続可能な公共調達 ～自治体の取り組みをどう進めるか～」を共催いただくことができた。

当日は、SDGsの目標12.7にも掲げられている「持続可能な公共調達」をテーマに、国内外の動向や自治体の様々な取り組みについてCSOネットワークから紹介した後、元横浜市経済局の吉田正博さんより、横浜市の公共工事の優先調達の評価項目でもある「横浜市地域貢献企業認定」の背景となった「地域を支える企業の在り方」についてお話を伺った。その後、IIHOEによる、静岡市等自治体の実情を踏まえた公共調達における可能性に関する問題提起に沿って、行政を含めた地域のそれぞれのセクターが持続可能性に関してできることを議論した。

参加者は、行政職員を中心に約30名、アンケートは、概ね好評で(いただいた回答全て「とても有意義」「有意義」でした)「全ての職員に聞いてもらいたい内容でした」とのコメントもいただいた。また、参加者には『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』を紹介・配布した。

2. 公共調達の調達先であり、厳しい経営環境の中で、持続可能性への配慮を進めて行かねばならない地域の中小企業に対して様々なセクターができることを考えるべく、第5回SRセミナーとして「SDGs時代における中小企業の社会的責任～中小企業の持続可能性向上に必要なサポートを考える～」を3月に企画していたが、新型コロナウイルスの拡大を避けるため延期とした。

#### (3) 「ビジネスと人権に関する国別行動計画」の策定に関する働きかけ・啓発

1. ビジネスと人権に関しては、5月22日のSRフォーラム(P.2参照)の際に、本年度取り組むべき1つのテーマとして取り上げられた。講師のアジア太平洋人権情報センターの松岡氏からは、人権尊重とは、「やり方」(プロセス)の質の問題で、特別なものでなく、仕事の上での普通の課題として認識されるべきものであり、ビジネス、オリパラの開催、NPO/NGO活動のいずれにも通じるイシューである、という本質的な話のあと、ビジネスと人権に関する

指導原則とそれを実行するための国別行動計画策定についての説明があった。また2018年3月に開始した国別行動計画策定に向けたベースラインスタディの意見交換会についても言及がされた。しかしながら、個別のセミナーは実施されなかった。

#### (4) NPO/NGOの社会責任(NSR)への取り組み推進

1. IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]が主催し、NNネット幹事団体をはじめとする13の団体が参加する「NPOの社会責任(SR)取り組み推進プロジェクト」において、それぞれの団体のSR取組みについて共有する機会(計4回)を開催するとともに、SRセミナーにおいて「NPO/NGOに欠かせない「ガバナンス」をどう進めるか」(第1回)、「実践しよう！NPO/NGOのガバナンス強化～理事会改革の事例に学ぶ～」(第3回)を開催した。(P.2参照)

#### (5) SDGsと社会的責任

1. 2019年11月19日にSDGs市民社会ネットワーク社会的責任ユニットとの共催により、「SDGs実施指針の改定に向けたマルチステークホルダープロセス」を開催。SDGsに関心がある方にNNネットのことを知っていただく好機会となった。(P.2参照)

### 3)情報発信・広報事業

#### 1. SRセミナーを中心とした情報発信

NNネットのウェブサイト、メーリングリスト、Facebookを通じ、SRセミナー(4回)、共催イベント(1回)の広報、報告をした。Facebookでの広報では共催先の団体からの情報を転載するなどしてアウトリーチにも努めた。

#### 2. ハンドブックを活用した啓発活動

主催イベント会場で、ハンドブック『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』35冊を頒布した。また、ホームページにて販売を行い、2名の方に計2冊をご購入いただいた。

### 4)その他

#### 1.社会的責任に関する円卓会議(以下、SR円卓会議)への参画と推進

同会議に関連する協議や会議は行われなかった。

## 2019年度組織運営(事務局業務)報告

## &lt;実施期間&gt;

2019年4月1日～2020年3月31日

## &lt;業務報告&gt;

## 1. 会議等の開催

## (1) 第12回 通常総会の開催

日 時:2019年5月30日(木) 17:00～18:30

会 場:地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)(東京都渋谷区)

議 題:

- ・2018年度事業報告・決算の承認
- ・2019年度事業計画・予算の承認
- ・NNネットからの代表協議者の選出
- ・(報告事項)2019年度監事および幹事団体について
- ・(総会閉会后)意見交換「NNネットの今後の進め方について」

## (2) 幹事会の開催

- ・第122回幹事会 2019年4月16日(火) 14:30～16:00 @地球環境パートナーシッププラザ
- ・第123回幹事会 2019年5月30日(火) 13:00～15:00 @地球環境パートナーシッププラザ
- ・第124回幹事会 2019年7月16日(火) 14:30～16:00 @難民を助ける会(AAR)事務所
- ・第125回幹事会 2019年9月17日(火) 14:30～16:00 @地球環境パートナーシッププラザ
- ・第126回幹事会 2019年11月19日(火) 14:30～16:00 @地球環境パートナーシッププラザ
- ・第127回幹事会 2020年1月14日(火) 14:30～16:00 @地球環境パートナーシッププラザ
- ・第128回幹事会 2020年2月18日(火) 14:30～16:00 @難民を助ける会(AAR)事務所
- ・第129回幹事会 2020年3月17日(火) 14:30～16:00 @難民を助ける会(AAR)事務所、WEB参加

## 2. 事務局業務の引き継ぎ

2019年度から事務局業務を下記の5つに分割し、それぞれの担当幹事が中心となって引き継ぎを実施した。

- ・会員管理(CSOネットワーク)
- ・会計(NPOサポートセンター)
- ・広報(環境パートナーシップ会議)
- ・在庫管理(難民を助ける会)
- ・幹事会および総会準備に係る事務(IIHOE)

## 3. 会員管理

## (1) 会員へのフォローアップ

- ・会員の入会、継続、休会等に伴う業務  
(現在正会員26団体、サポーター3名)
- ・会員メーリングリストの運営と管理
- ・会員に対して、幹事会終了後、幹事会議事概要を配信

## (2) 会員データベース管理

- ・会員情報の整理と管理

## (3) 会費請求

- ・会員に対して会費の請求書を作成・送付

#### 4. 会計

##### (1) 日常的な会計

・円滑な業務執行を行うために、現金等の支払い・精算ルールを策定し、それを明文化して記録、資金の動きを明確にした。

##### (2) 資金管理と検査

- ・現預金などの日常の管理状況を検査する業務を行った。
- ・決算書(中間および期末)を作成し、報告した。
- ・監事による監査を行った。

#### 5. 広報

##### (1) ウェブサイト管理・運営に関する業務

- ・ウェブサイトの管理・運営を行い、「SRツール集」を一部改定した。
- ・外部からの代表アドレス宛ての問合せに対応した。

#### 6. 在庫管理

##### (1) ハンドブックの在庫管理

・『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』の在庫の管理を行った。

#### 7. 幹事会および総会準備に係る事務

##### (1) 幹事会開催準備、報告

・幹事会開催の日程調整および次第の作成、議事妙録作成と開催報告を行った。

##### (2) 総会開催準備

・総会開催にかかる準備、資料作成等を行った

以上